

# キラめく静岡を創る!!

元気で、持続可能な社会を後世に渡していく。これは、私たち国民の共通の願いではないでしょうか。しかし現実には、静岡県も**人口減少**という大きな課題に直面しています。これを放置すれば、経済のパイの縮小や税収減による公的サービスの低下が懸念されますので、早急な対策が必要です。

## 対策1 人口流出の防止



流出してしまう原因の一つに、災害に対する不安感が挙げられます。現在本県では、「地震津波対策アクションプログラム2013」を実行中ですが、先日も、天竜区原田橋で痛ましい事故が発生しました。一日でも早く、着手した事業が完了するよう働きかけて参ります。また、近年多発する集中豪雨対策として、河川の整備も進めて参ります。

## 対策2 人口流入の促進



本県で育った若者が、また再び故郷に戻ってきてもらうためには、雇用の受け皿となる産業の力が欠かせません。得意技である自動車産業等の安定的な支援はもちろん、光・電子、農業、環境、健康医療、さらには航空宇宙産業の積極的な集積を促進するべく、経済活動しやすい環境整備に力を注ぎます。

これらの組み合わせで、人口減少は食い止められます。しかし、そのためには財源の裏付けが必要です。無い袖は振れないということです。そこで、施策を確実に推進するため、**財政状況を健全なものに**しなければなりません。

## 実践1 支出を抑える



本県の借金残高は約2兆8000億円で、一人あたり平均76万円もあります。後世にツケを回さないためにも、一層の行財政改革が必要です。もちろん、議員も含めて人員削減や事業の仕分けは大事ですが、今後、より重くのしかかってくるのが、公共施設や道路・橋といったインフラの更新です。浜松市のように、全データを見える化し、適切な管理と更新を徹底させます。

## 実践2 収入を増やす



県内で多くのお金を消費してもらうことが大事なのは、言うまでもありません。そこで、拡大する海外からのお客様の消費意欲を取り込む必要があります。本県には、富士山をはじめ美しい景観や美味しい食材など魅力は豊富ですが、自由に使えるインターネット環境不足や言語の壁が、大きな課題として挙げられます。観光立県を標榜するからには、おもてなし度の更なる向上を図ります。

健全な財政運営で施策を確実に前に進め、人口減少問題を打開する!

でも、そのためにもう一つ必要なのが、皆様の**政治に対する関与**です。特に、社会に活力を与えるためには**若者の政治参画**が何より大事です。来年には、選挙権が18歳以上に拡大されることになりました。



これを契機に、**キラめく静岡を一緒に創っていきませんか!?**

## 山崎真之輔プロフィール

- ◆ 33歳三児の父親
- ◆ 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- ◆ 元衆議院議員
- ◆ 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆ 浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆ 静岡県議会議員(1期目)
- ◆ 所属会派:ふじのくに県議団
- ◆ 所属委員会:文化観光委員会(副委員長)



浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン\*

静岡県議会議員

# 山崎しんのすけ 第8号 通信

平成27年3月発行

本気が違う!!



山崎しんのすけ事務所 | 〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982  
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索

## これまでも、これからも。

一昨年の6月から頂いた在任期間も、残りわずかになりました。本会議場での質問も、所属委員会での質疑も、市議会議員時代に培った経験を生かして幅広く行うことができたと思います。



しかし、人口減少問題など静岡県が抱える課題は数多く残っていますし、逆にラグビーW杯や東京オリンピックをはじめとする、地域活性化チャンスの種も植わっています。

これまでも、これからも、「**本気が違う!**」というキャッチコピーとともに、全力で静岡県政をリードして参ります。

どうぞ、ご期待ください!!



## はままつ、地域、子どもたちのために!

議員の仕事は、箱の中、机の上ばかりではありません。いつでも大事なのは、現場主義と常識感覚。

おかげさまで様々な行事に参加し、多くのことを学ばせて頂いておりますが、「はままつ、地域、子どもたちのために、私にできることを精一杯恩返ししていきたい」と思います。

